

2020年12月ドミニカ共和国内政、外交、経済定期報告

在ドミニカ共和国日本国大使館

1 内政

(1) 7日、タベラス青年大臣は、大臣就任前のサント・ドミンゴ県ラ・グアジガ市の市長時代における政府調達と契約に関わる法律違反や資産をめぐる検察庁及び政府調達契約総局の取り調べを理由に辞職を表明。閣僚辞任はアビナデル政権で初。

(2) 9日、アビナデル大統領は、ルス・デル・アルバ・ヒメネス青年省次官を新たな青年大臣に任命。ヒメネス新青年大臣は現代革命党 (PRM) の党员であり、サント・ドミンゴ・エステ市青年部の調整官等を歴任。

(3) 9日、アビナデル大統領は、汚職対策の強化を含む包括的制度改革計画を発表。併せて、会計院内の汚職対策部局、政府の活動に係る情報収集を行う透明性ポータル、政府支出等を監視する審議会の創設を発表。

(4) 11日、アビナデル大統領は、サント・ドミンゴ県のボカチカ市立病院の開設、ボカチカ市の道路建設、歩道橋及び自動車用オーバーパス建設の開始を発表。

(5) 15日、アビナデル大統領は、夜間外出禁止の時間帯変更等を含む新型コロナウイルス感染拡大防止措置を発表。国家特別区、サント・ドミンゴ県、サンティアゴ県、ドゥアルテ県、ラ・ベガ県及びプエルト・プラタ県における夜間外出禁止時間帯を午後7時から翌午前5時まで。その他地域における夜間外出禁止時間帯は平日午後9時から翌午前5時及び、土、日、祝日の午後7時から翌午前5時まで。

(6) 21日、ドミニカ共和国民間航空評議会 (JAC: Junta Aviacion Civil) は、英国における新型コロナウイルス変異種の発見を受け、英国からの航空便の発着を翌年1月10日まで停止する旨発表。

(7) 22日、アビナデル大統領は、ペデルナレス県の観光開発に必要なインフラ事業の計画や促進を目的としたプロ・ペデルナレス公益信託を設立。

(8) 30日、アビナデル大統領は、外出禁止の時間帯変更等を含む新型コロナウイルス感染拡大防止措置を発表。2021年1月1日から10日までの間、月曜日から金曜日の外出禁止時間を午後5時から翌午前5時とし、帰宅のための移動許可時間は午後7時まで。土曜日及び日曜日の外出禁止時間は正午から翌午前5時まで。

(9) 30日、アビナデル大統領は、新型コロナウイルス感染拡大により休業を余儀なくされた従業員に対する助成金支給プログラム「FASE 1」の2021年4月までの延長を発表。

(10) 31日、厚生省は12月30日現在の新型コロナウイルスの感染状況を発表。症例数総数は170,785名。病床の占有率には、一般病床占有率は39%、ICU病床占有率は53%。

2 外交

(1) 1日、アルバレス外相はドミニカ（共）を訪問中のジョセフ・ハイチ外相と会合、二国間関係の強化に係る議定書に署名。

(2) 6日、一帯一路構想の一環として、職業訓練庁（INFOTEP）と中国の南京JINLING（金陵）高等職業技術学校は職業技術訓練推進に係る協定に署名。管理者、技術者、教員や学生を対象に、パソコンスキル、自動車、芸術デザイン、ビジネス、栄養、料理、観光等の様々なプログラムが国内外にて実施される予定。

(3) 7日、ドミニカ（共）は、6日に実施されたベネズエラ国会議員選挙に関するリマ・グループ共同声明に署名。国際社会に対しベネズエラの民主主義、人権の尊重及び法の支配の回復への取り組みを支援するよう求めた。

(4) 8日、独政府は、厚生省に対し10万回分のPCR検査キットを供与。

(5) 26日付西「エル・パイス」紙は、「ルイス・アビナデル：新たな冷戦においては米国との戦略的關係が必要」と題して国内情勢、新型コロナウイルス対策、外交等に関するアビナデル大統領のインタビュー記事を掲載。

(6) 10日、ロビン・バーンスタイン米国大使はアト・マジョール県を訪問。2015年以来1,600万ドルが投資され、米国農務省の「Food for Progress」プログラムの支援を受けて実施されている酪農プロジェクトを視察。

(7) 17日、台湾の仏教系の慈善団体「慈濟基金会」は、厚生省に対し、新型コロナウイルス感染症対策用品を寄付。

(8) 22日、中国政府はドミニカ（共）政府に対し、軍用オフロード車8台、オートバイ140台及び予備部品15,000個を供与。Zhang Run 中国大使は引き渡し式において、2020年4月の黄雪平・中央軍事委員会国際軍事合作弁公室副主任のドミニカ（共）来訪及び陸軍・国家警察への協力に関する合意について言及した。

3 経済

(1) 10日、ドミニカ・ベルギー商工会議所（BELCHAM-RD）のミゲル・アンドレス・マルティネス会頭は、2019年の二国間貿易収支が3,290万ユーロの黒字に達したと発言。ドミニカ（共）からの主な輸出は、食品関係36.6%、

野菜等 34.2%、化学製品 7.3%。

(2) 11日、アンヘロ・ビロ・ドミニカ・ブラジル商工会議所会頭は、2010年から2020年6月までのブラジルのドミニカ（共）への投資額が23億5,290万ドルに達したと発言。米国、カナダに次いで第三位。

(3) 14日、中米経済統合銀行（CABEI）は、ドミニカ（共）に駐在員事務所を開設。

(4) 21日、上院議会は2,900億ペソを上限とする国債発行法案を承認。

(5) 21日、米州開発銀行（IDB）は、ドミニカ（共）の輸出促進を目的とした電気システム改善、デジタル化推進、インフラ整備等の7つの国家プロジェクトに対する6億2,100万ドルの融資を発表。